

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第6回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項（公開）

- ・津有区の特長を生かした地域活性化策について

○津有区パンフレットについて

(2) 協議事項（公開）

- ・今後のスケジュールについて
- ・地域活性化の方向性について

3 開催日時

令和5年9月25日（月）午後7時から午後7時55分まで

4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：青木雄司、梅川康輝、大滝英夫、千代金治、相馬祐一 中島 功（副会長）、
藤本孝昭（会長）、古川勝夫（欠席2名）

- ・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【藤本会長】

- ・会議録の確認：梅川委員に依頼

次第2 議題「(1) 自主的審議事項」「津有区の特長を生かした地域活性化策について」の「津有区パンフレットについて」に入る。事務局の説明を求める。

【山崎主事】

春から皆さんと作成してきたパンフレットがついに完成した。皆さんが活動された自主的審議の立派な成果といえる。

地域協議会委員と作成委員の皆さんには送付済みであり、既にご覧いただいたと思う。津有区の地域の皆さんへは、今月25日発行の広報上越と合わせて全世帯に配布する。その他学校や施設等には、来週までに配置する予定で準備中である。パンフレットの二次元コードを読み取ると、リンク先の市のホームページで、津有地区地域づくり協議会が発行した「津有の郷 文化遺産めぐり」の記事が読めるようになっている。

あわせて、活用事業の準備も行っている。5つの施設を回るスタンプラリーと、津有を巡るバスツアーを企画している。パンフレットにチラシを挟んで周知している。

スタンプラリーは、10月6日金曜日から各施設にスタンプを配置する。スタンプを5つ全て集めて公民館に持っていった方には、前島密の特製シールを先着でプレゼントする。このシールは、バスツアーの参加者にも配布する。

バスツアーは、11月18日午後と19日午前に、それぞれ2時間半程度で予定している。誰でも参加できるが、小学4年生以下は保護者同伴とした。定員は先着20人程度で、2日間で40人程度を想定している。申し込みは申込フォームのほか、電話やメールでも受け付ける。バスツアーでは、スタンプの押せる5施設を回り、施設の方から説明を受けるといった流れを考えている。また、パンフレットで紹介した本覚坊や成就院跡などを車窓から見学してもらうことも考えている。今後、内容を若干変更するかもしれないが、今はこのように進めたいと考えている。

以前、前島記念館長からグッズなどの提供について提案いただいたが、サブレやキーホルダーのようなお土産もバスツアーの参加者に配れるかもしれないとお聞きしている。また、他の施設では、施設のパンフレットなど、何か手元に残るようなものを配布できるかもしれない。

スタンプラリーやバスツアーについては、事務局で準備を進めていくが、委員の皆さんからは、ぜひ周りの方に声を掛けていただいて、多くの方から参加いただけるよう促

していただくと非常に助かる。

【小林所長】

地域協議会で発案いただき、パンフレットを作成することができた。最終的には、事務局に一任していただき校了とした。至らぬ点は何卒ご容赦いただきたい。

今後、このパンフレットを使って、地域の皆さんから津有の良さを知ってもらうためのイベントを2つ考えている。

一つは、スタンプラリー。事務局としては、できれば小・中学生から楽しんでいただきたい。小・中学校へPRに伺うが、皆さんからも周りへのお声掛けをお願いしたい。

もう一つは、津有めぐり。パンフレットに載っている地域を散策する。行く先々で楽しみながら地域の良さを再認識していただけるよう、趣向を凝らしている。委員の皆さんからは、周りへの声掛けを積極的にしていただきたい。

【藤本会長】

ただ今の説明について、質問・意見を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、次に移る。

パンフレットの完成に際し、委員全員から感想を求める。

【青木委員】

10月1日に町内に配布する。ようやく形になり、本当に皆さんの行動力に敬意を表したい。町内便りには、このパンフレットとバスの津有めぐりについてお知らせする。

【梅川委員】

素晴らしいものが完成した。12ページの「時代を切り開いた偉人たち」を非常に興味深く拝読した。中村三代太郎の名前は知っていたが、それ以外の方は初めて知ったので、私も興味を持って調べたいと思った。

【大滝委員】

これまで、この地域に何があるのかとか、地域にまつわる歴史とか、パンフレットに載っているような事柄について、ほとんど知らなかった。地域のパンフレットができたことに関しては、大変よかったと思う。

【千代委員】

大変素晴らしいものができて、本当に感謝している。ありがたく思う。皆さんの意見を綺麗にまとめていただき、協力してくださった皆さんに本当に感謝申し上げたい。津

有地区の北部や南部に関係なく、皆さんに読んでいただければと思う。

【相馬委員】

どんなものができるのかずっと不安だったが、良い写真もあり、いろいろな場所も細かく説明してあり、とても良くできていると思う。感謝したい。

【古川勝夫委員】

本当に長い間、皆さんに協力してもらい、こんな立派なものできた。これからは町内の皆さんの意見を聞きながら、このパンフレットを活用したいと思う。本当に感謝申し上げます。

【中島副会長】

これを作ると言ったときに本当にどうなるのか心配ばかりしていたが、立派なものできたと思う。こういう形でまとめられたのは、事務局のおかげだと思う。私もこの中でいろいろ勉強させていただいた。

【藤本会長】

今回このパンフレットを作るに当たり、できないことを探っていくのではなく、できることをどうしたらいいかというところから出発した。その中で、皆が楽しくなるよーうにということだったが、最終的にできたものを見ると、本当にそのとおりになって良かった。私たちだけではなく、作成委員の皆さん、それぞれの立場からいろいろなご意見をいただいて、一つのものできた。そして何よりも、津有区地域協議会という組織として、形になったのが何よりもうれしいことだと思う。何か形を残すことが大事だというわけではないが、私たちはあと半年で任期満了を迎える。私たちの足跡を残すことができ、すごく嬉しく思う。皆さんの協力に改めて感謝申し上げます。

【山崎主事】

皆さんの任期が始まる時に異動してきて、一緒に進んできた。会長がおっしゃったとおり、何か楽しいことということで、良いところを伸ばしていこうと始まったのがこのパンフレットづくりだった。この春から作成委員会として皆さんから協力していただき、ここまで立派なものできた。すごく嬉しく思う。感謝申し上げます。

【小林所長】

二次元コードを読み取ることで、津有地区地域づくり協議会が作られた「津有の里文化遺産めぐり」の記事が読めるようにしたのは、担当の仕事である。時間のない中で、全ての記事をこのパンフレットに落としてもらった。労いの意味を込めてこの場で発表

させていただいた。

【井守副所長】

私は異動してきてこの4月からの参加だったが、グループに分かれて、思い思いのことを発表し活発な議論がされていて、素晴らしいと思った。それがパンフレットとしてまとまり、よかったと思う。今後の活用に向けて、引き続きよろしくお願ひしたい。

【渡邊係長】

私も来たばかりにもかかわらず、皆さんの熱意ある協議に入れていただいた。冷静な目で校正に関わったが、ここまでのものがこれだけの期間でできたものだと、皆さんの熱意に本当に驚かされた。しかも、ここに記載されている写真やデータは、皆さんに持ち寄っていただいたものであり、本当に皆で作上げたんだと感動した。私の担当する区でも、こういう楽しいものを作ったというような結果が残せるようにしたいと思う。

【藤本会長】

先ほど説明があったスタンプラリーやバスツアーについて、質問・意見を求める。
手元の資料のバスツアーのスケジュール案の時間が前後しておかしい。

【小林所長】

時間はこちらの誤りである。2時間半の行程で5か所程度を回る予定である。

【藤本会長】

了解した。
他に意見はないか。

【千代委員】

バスツアーの定員は20人だが、例えば親子で来られて、乳飲み子がいた時にそれも1人と数えるのか。それとも親子で1人として数え、膝の上で抱える形をとるのか。

【小林所長】

まず、市のバスの乗車可能定員より少なめに、余裕を持たせてツアーの定員を設定している。安全性が確保されれば、幼児も乗車可能と考える。

【藤本会長】

かばんを持つ前島さんのイラストが、パンフレットとスタンプラリーのスタンプとで向きが逆だが、意図的なものなのか。

【小林所長】

パンフレットの構成上この向きとした。特に他意はない。

【藤本会長】

1、2 ページの二次元コードを読み取ると各ページは開けるが、全体を網羅したページには行けない。どうしたら見られるのかと質問が来るのではないか。

【小林所長】

パンフレット全体は、市のホームページから見られるようにする。

【中島副会長】

増刷の予定はあるか。

【小林所長】

皆さんの反応を確認し、増刷の可否を検討する。

【梅川委員】

増刷の予算はあるのか。

【小林所長】

増刷の予算は無い。既決予算の範囲内で前向きに考えたい。

【藤本会長】

以前質問があった、スタンプラリーのそれぞれの場所の受入れ態勢はどうなっているか。

【小林所長】

各施設の受付窓口、例えば保阪邸では玄関先など、わかりやすいところに配置いただくようお願いしてある。

休日はそれぞれ事情があるため、一律で土日は開けてほしいとか、何時まで開けてほしいというようなお願いはしていない。このため、参加者に不便をかけることがあるかもしれない。それについては、何卒ご容赦いただき、別の日に寄っていただくなど個々で対応をお願いしたいと考えている。

【藤本会長】

対応を全てお願いするのは、それぞれの施設の運営方針もあるので無理だろう。逆に、例えば、津有地区公民館ならば日曜日は休館とか、保阪邸はこの日とこの日は入れるとか、そういう把握をしておいた方がいいと思う。この 5 つの場所についての訪問可能な一覧表を配る必要はないものの、手持ちとして必要ではないか。

【大滝委員】

例えば、訪れたのに開いていなかったとき、今度はいつ来たらいいのかが表示されて

いればわかりやすい。

【小林所長】

開館日がいつなのか、事務局で全て把握する。当日訪れていただいた方へは、現場に表示することで対応可能だと思う。施設の方と協議する。

【藤本会長】

他に意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第2 議題「(1) 自主的審議事項」、「津有区の特長を生かした地域活性化策について」の「津有区パンフレットについて」を終了する。

次に、次第2 議題「(2) 協議事項」の「今後のスケジュールについて」に入る。事務局の説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料1に基づき説明

【藤本会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第2 議題「(2) 協議事項」の「今後のスケジュールについて」を終了する。

次に、次第2 議題「(2) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」に入る。事務局の説明を求める。

【小林所長】

- ・資料2に基づき説明

【藤本会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第2 議題「(2) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」を終了する。

次に、次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

【山崎主事】

- ・次回の協議会について説明

— 日程調整 —

- ・次回の地域協議会：10月30日（月）午後6時30分から
津有地区公民館 大会議室（予定）

【藤本会長】

以上で次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」を終了する。

次に、次第3「その他」の「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

(無しの声)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。